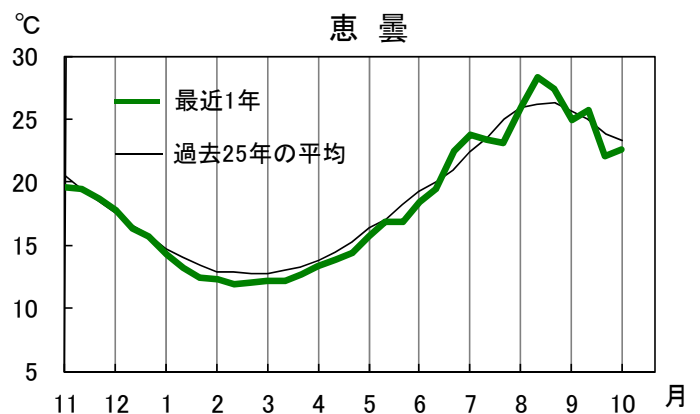
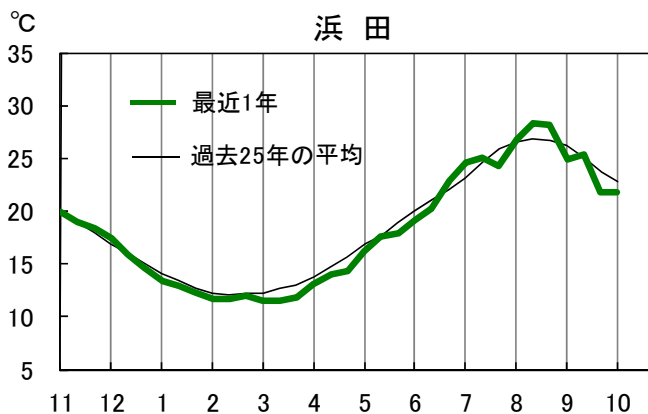




《9～10月の海況》

9月	月平均	平年差	評価
浜田	24.0℃	-1.1℃	やや低め
恵曇	24.2℃	-0.7℃	平年並み

沿岸定地水温は、9月上旬は浜田地区では「やや低め」、恵曇地区では「平年並み」でした。9月中旬は両地区とも「平年並み」でしたが、9月下旬以降は10月上旬時点では「かなり低め～やや低め」と低め傾向が続いています。



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ主体の漁況でした。マアジの漁獲量は平年の8割と低調であったため、総漁獲量は平年を下回りました。県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジ、サバ類、カタクチイワシ主体の漁況でした。マアジの漁獲量は平年並みで、サバ類は平年の6倍、カタクチイワシは平年の2倍と好調でした。一方、昨年（2010年9月）3千トンを超える漁獲のあったブリは、平年の4割であったため、総漁獲量は平年並みに留まりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではケンサキイカ主体（全体の99%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は437kgで平年を上回りました。西郷地区（属地5トン以上）でもケンサキイカ主体（全体の100%）の漁況となり、1隻1航海あたりの漁獲量は231kgで平年を上回りました。浜田地区では10月に入り漁模様は上向いており、ケンサキイカの秋季来遊群を対象にイカ漁が本格化している模様です。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではケンサキイカ主体の漁況でした。1統1航海当たり漁獲量は11.2トンで、平年並みの水揚げとなりました。ケンサキイカは前漁期に引き続き好調に推移し、平年の1.8倍の水揚げがありました。一方、カレイ類は低調で平年の5～6割の水揚げに止まりました。このほか、キダイは平年の1.4倍の漁獲があり、前漁期に引き続き好調に推移しました。また、マダイ、カワハギ類は平年の4倍の水揚げがありました。

【小型底びき網漁業】

和江地区ではケンサキイカ主体、久手地区ではケンサキイカ、ニギス主体の漁況でした。1隻1航海あたりの漁獲量は、両地区とも前年、平年を上回りました。ケンサキイカは両地区とも平年の2.5～2.9倍の水揚げがありました。また、ニギスもまとまった漁があり、好調に推移しています。このほか、カワハギ類が好調で、平年の3.3～3.5倍の水揚げがありました。

【定置網漁業】

石見地区ではケンサキイカ、サワラ類、マアジ主体の漁況で、1統あたりの漁獲量ではケンサキイカが平年の3倍でしたが、サワラ類が平年の4割、マアジが平年の6割であったため、全統の総漁獲量は平年の7割でした。出雲地区ではマアジ、サワラ類主体の漁況で、1統あたりの漁獲量では例年漁獲の主体であったブリが平年の4割であったこと、また操業統数が平年より2統少なかったため、全統の総漁獲量は平年の6割でした。隠岐地区ではケンサキイカ主体の漁況で、その1統あたりの漁獲量は平年の3.4倍でしたが、例年漁獲の主体であったサバ類など他の魚種が不調であったため、全統の総漁獲量は平年の3割でした。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は34kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は36kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカ、マダイ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は35kgで平年を上回りました。どの地区でもケンサキイカが好調で、3地区の総漁獲量は161トンで、平年の1.5倍でした。

【平成23年9月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	167トン	71%	75%	6.9トン	83%	89%	○
	西郷	マアジ、サバ類	3,484トン	102%	104%	45.2トン	104%	117%	◎
	浦郷	マアジ、カタクチイワシ、サバ類	1,839トン	82%	82%	32.3トン	92%	100%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	367トン	81%	132%	437 kg	97%	123%	◎
	西郷	ケンサキイカ	49トン	117%	176%	231 kg	162%	175%	◎
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ	312トン	83%	92%	11.2トン	92%	98%	○
小型 底びき網	久手	ケンサキイカ・ニギス	233トン	89%	92%	937kg	103%	122%	◎
	和江	ケンサキイカ	371トン	97%	112%	994kg	109%	132%	◎
定置網 (大型)	浜田	ケンサキイカ、サワラ類、マアジ	44トン	205%	163%	2,466 kg	262 kg	186 kg	◎
	美保関	マアジ	49トン	73%	47%	701 kg	67 kg	58 kg	▲
	浦郷	ケンサキイカ	6トン	136%	41%	259 kg	167 kg	47 kg	▲
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	28トン	178%	140%	58 kg	150%	137%	◎
	大社	ケンサキイカ	10トン	77%	77%	22 kg	73%	94%	○
	西郷	ケンサキイカ、メダイ、マダイ	14トン	73%	85%	38 kg	95%	106%	○

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が0Kg(ほぼ0Kg)のものは平年比を－とした